

第6回外部評価委員会

日 時： 平成20年4月5日(土)10時~12時40分

会 場： 九州大学創立五十周年記念講堂大会議室

出席者： 委員長 清成忠男氏

委 員 南原晃氏、岡松壯三郎氏、橋田紘一氏、彭晋璋氏、小早川明德氏

教 員 経済学研究院教員

アジェンダ： ・平成19年度実績報告

・委員会の質問

・委員の評価

・総括

内 容： 平成19年度の九州大学経済学府産業マネジメント専攻の活動に対して、第6回外部評価委員会において、外部評価委員よりいただいた主なポイントは以下のとおり。

< 質問およびコメント >

- ・学生アンケートの回収率をもっと向上し、意見を反映すべきではないか。
- ・QBS 開設時の教員の世代交代の手当てと MOT プログラムの強化について説明いただきたい。
- ・学生の多様性を更に確保すべきである。
- ・産官学の連携は今後も重視すべきである。
- ・外部からのゲストスピーカーはどのような方を招請しているのか。
- ・アジアにおける環境問題についても取り組んでいただきたい。
- ・望ましい定員倍率を確保するべく一層努力すべきである。
- ・卒業生に対するフォローと交流の仕組みづくりについて説明いただきたい。
- ・地域連携およびアグリビジネスについても取り組みを行ってはどうか。
- ・通学に便利なサテライト・キャンパスの確保は必須である。
- ・アジアビジネスのプログラムの拡充が必要ではないか。

< 評価 >

- ・教師陣のプログラム作りへの努力を高く評価する。
- ・外部評価委員のコメントに真摯に対応している。
- ・学生のプログラムの評価が高いことは喜ばしいが、より多くの調査結果を集計することが必要。
- ・産官学や他大学との連携強化により、限られたアセットを補うことが必要。
- ・アジアの大学との交流に関して、短期間で実績を挙げたことを高く評価する。

以上